

企業の社会貢献活動等に関する調査

設問票

千葉県 県民生活・文化課

概要

千葉県内の企業の社会貢献活動等の実態調査に御協力をお願いします。
令和2年11月1日時点の貴社の状況についてお答えください。

回答方法はウェブ又はメールもしくはFAXとなります。

ウェブで回答される場合は下記ホームページを御利用ください。

千葉県ホームページ「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」

「県民活動の推進に向けたアンケート調査にご協力ください」

(URL：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/npo/plan/tyousa.html>)

結果集計の迅速化を図るため、原則ウェブでの回答をお願いいたします。

メールでの回答にあたっては、本調査票に沿って、上記ホームページに掲載している「回答用紙」(エクセル形式)をダウンロードの上、回答を記入いただき、県民生活・文化課 県民活動推進班(npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp)宛てにメールを送付ください。

FAXでの回答にあたっては、本調査票に沿って、添付の「回答用紙」に回答を記入いただき、県民生活・文化課 県民活動推進班(FAX：043-221-5858)宛てにFAXを送付ください。

お答えいただいた内容は、県民活動推進のための施策に係る基礎資料として活用させていただきます。

*基本的に選択式となっています。お手数ですが、御協力いただけますと幸いです。

なお、回答に迷われましたら、現状に最も近いと思う選択肢をお選びください。

〔従業員数〕

設問1 該当する従業員数を選択してください。

1. 100人未満 2. 100人以上500人未満 3. 500人以上

〔業種〕

設問2 該当する業種について、あてはまる番号1つを選択してください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 農業、林業 | 2. 漁業 |
| 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 4. 建設業 |
| 5. 製造業 | 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 7. 情報通信業 | 8. 運輸業、郵便業 |
| 9. 卸売業、小売業 | 10. 金融業、保険業 |
| 11. 不動産業、物品賃貸業 | 12. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 13. 宿泊業、飲食サービス業 | 14. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 15. 教育、学習支援業 | 16. 医療、福祉 |
| 17. 複合サービス事業 | 18. サービス業（他に分類されるものを除く） |
| 19. 公務（他に分類されるものを除く） | 20. 分類不能の産業 |

〔社会貢献活動の実施状況〕

設問3 貴社は、以下の社会貢献活動を実施していますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 企業としてのボランティア活動への参加
2. 従業員の自発的なボランティア活動の支援
具体的には：
（1 ボランティア休暇 2 ボランティア活動への呼びかけ 3 ボランティアを含む副業の推奨 4 その他）
3. 金銭的な支援
4. 物資の提供・貸与
5. 施設・場所の提供
6. 技術的な支援・アドバイス・従業員の派遣・プロボノ（ ）
7. イベントの開催・後援など
8. その他（ ）
9. 特に実施していない

プロボノ・・・プロフェッショナルスキルや専門知識を持つビジネスパーソンやクリエイターが、社会的・公共的な目的のために職業上のスキルを活かして行うボランティア活動

〔ボランティア活動の分野〕

設問4 設問3で、「1. 企業としてのボランティア活動への参加」を選択した方に伺います。活動しているボランティア活動の分野は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 社会福祉 | 2. 健康・医学、スポーツ |
| 3. 学術・研究 | 4. 教育・社会教育 |
| 5. 文化・芸術 | 6. 環境 |
| 7. 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全 | 8. 国際交流 |
| 9. 災害被災地支援 | 10. 防災まちづくり・防犯 |
| 11. 人権 | 12. 市民活動団体の基盤強化 |
| 13. 雇用創出及び技能開発、就労支援 | 14. その他 |

〔社会貢献活動実施の理由〕

設問5 設問3で「9.特に実施していない」以外を選択した方に伺います。社会貢献活動を実施している理由は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 企業として、さらに地域社会に貢献したいため
2. 経営者の考え方や企業理念に合致するため
3. 企業には社会的責任(CSR)があると考えているため
4. ESG投資の広まりなどから、経営をより円滑に行うために必要であると考えているため
5. 企業イメージの向上のため
6. 株主や業界団体等の関係者から要請があったため
7. 従業員の活躍の場の創出や従業員の人材確保に寄与すると考えているため
8. その他

〔社会貢献活動を実施していない理由〕

設問6 設問3で、「9.特に実施していない」を選択した方に伺います。社会貢献活動を実施していない理由は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 予算の確保が難しいため
2. 人的な余裕がないため
3. 時間的な余裕がないため
4. 活動のノウハウや情報が不足しているため
5. 活動実施にあたり、社内の理解を得るのが難しいため
6. 活動を行う意義が薄いと感ずるため
7. その他

〔災害時の社会貢献活動〕

設問7 貴社は、災害時の社会貢献活動に取り組んだことがありますか。その内容について、あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 現場で被災者支援活動を行った。(社員の派遣等)
2. 行政・ボランティアセンター・市民活動団体等に対して寄附を行った。
3. 行政・ボランティアセンター・市民活動団体等に対して物資の提供・貸与を行った。
4. 業界団体やライオンズクラブ、ロータリークラブ等を通じて寄附を行った。
5. 業界団体やライオンズクラブ、ロータリークラブ等を通じて物資の提供・貸与を行った。
6. その他()
7. 特に実施したことはない。

〔災害による意識変化〕

設問8 昨年発生した令和元年房総半島台風など一連の災害をきっかけに、貴社の社会貢献活動に関する意識に変化がありましたか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 大きく上昇した
2. やや上昇した
3. 特に変化はない
4. やや低下した
5. 大きく低下した

〔新型コロナウイルス感染症による意識変化〕

設問9 新型コロナウイルス感染症の影響により、貴社の社会貢献活動の行動に変化はありましたか。あてはまる番号1つを選択してください。

- 1 . 大きく上昇した 2 . やや上昇した 3 . 特に変化はない 4 . やや低下した 5 . 大きく低下した

〔新型コロナウイルス感染症による社会貢献活動の変化〕

設問10 新型コロナウイルス感染症の影響により、貴社の社会貢献活動の行動に変化はありましたか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1 . 新たな社会貢献活動に取り組んだ。
2 . 既に行っている社会貢献活動をより積極的に実施した。
3 . 行っていた社会貢献活動を休止した。
4 . 既に行っている社会貢献活動の活動頻度が低下した。
5 . 特に変化はない。(これまで通り活動を行っている。)
6 . 特に変化はない。(活動は実施しておらず、変化はない。)

〔新型コロナウイルス感染症をきっかけに新たに取り組んだ社会貢献活動〕

設問11 設問10で、「1 . 新たな社会貢献活動に取り組んだ。」を選択した方に伺います。新たに取り組んだ社会貢献活動の分野は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 . 社会福祉 | 2 . 健康・医学、スポーツ |
| 3 . 学術・研究 | 4 . 教育・社会教育 |
| 5 . 文化・芸術 | 6 . 環境 |
| 7 . 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全 | 8 . 国際交流 |
| 9 . 災害被災地支援 | 10 . 防災まちづくり・防犯 |
| 11 . 人権 | 12 . 市民活動団体の基盤強化 |
| 13 . 雇用創出及び技能開発、就労支援 | 14 . その他() |

〔SDGsの認知・取組〕

設問12 ここ数年、SDGsという言葉が広まってきています。SDGs()について、貴社にあてはまる番号1つを選択してください。

- 1 . SDGsを知っており、SDGsを意識した活動・事業を行っている。
それはどのような取組ですか。(自由記述)
2 . SDGsについてある程度知っているが、SDGsを意識した活動・事業は行っていない。
3 . SDGsについて知らなかったが、SDGsに関連付けられる活動・事業を行っている。
4 . SDGsについてよく知らず、SDGsを意識した活動・事業は行っていない。

SDGs:持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものです。参考:<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>(外務省ホームページ SDGsとは)

〔SDGsによる社会貢献活動の意識・行動変化〕

設問13 SDGsの広まりにより、貴社の社会貢献活動の意識・行動に変化はありましたか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. SDGsの影響により、社会貢献活動をより積極的に実施するようになった。
2. 行動に変化はないが、社会貢献活動の意識が高まっている。
3. 特に変化はない。

〔連携・協働の意向〕

設問14 社会貢献を行うにあたり、自社だけで取り組むのではなく、他の企業や行政、地域の学校、市民活動団体などと協力しあい、各主体の得意分野を生かして連携して取り組む「連携・協働」() について、お考えをお教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 社会貢献活動に取り組むにあたり、連携・協働をして実施することは有意義だと思う。
2. 取り組む社会貢献活動の内容により、自社のみで活動するか、他主体と連携・協働するか検討したい。
3. 社会貢献活動に取り組むにあたり、連携・協働するよりも自社内のみで取り組む方が効果が高いと思う。
4. 意義や効果に関わらず、社会貢献活動に取り組むにあたり、連携・協働はしたいと思わない。
5. その他

ここでいう「連携・協働」とは、「対等な二者以上の主体が共通の目的を持ち、それぞれの目的を共有、お互いの特性を生かしながら協力すること」とします。

〔連携・協働の経験〕

設問15 設問3で「9. 特に実施していない」以外を選択した方に伺います。貴社は、他の企業や行政、地域の学校、市民活動団体など、他の主体と連携・協働して社会貢献活動を行ったり、取組に参加・協力したことはありますか。

1. はい それはどのような取組ですか。(自由記述)
2. いいえ

〔連携・協働の相手〕

設問16 設問15で「1. はい」とお答えした企業に伺います。連携・協働したのは、どのような主体ですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 県行政 | 2. 市町村行政 |
| 3. 他の企業 | 4. NPO・ボランティア団体 |
| 5. 地縁組織(町内会等) | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 学校・教育機関 | 8. 財団法人・社団法人 |
| 9. 商工会議所等の経済団体 | 10. 社会福祉法人 |
| 11. 士業・フリーランス・個人 | 12. 県民(地域住民) |
| 13. その他 | |

〔連携・協働の課題〕

設問17 他の主体と連携・協働した社会貢献活動を行う場合、課題に感じることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてを選択してください。(社会貢献活動を行う予定がない場合は、もし行うとしたらという観点でご回答ください。)

1. 連携・協働相手の情報が不足している。
2. NPO や学校等と連携できる関係性が構築されていない。
3. 連携・協働を仲立ちする人がいない。
4. 連携するために必要な自社内の体制整備や、連携するプロジェクトのプロセス管理、役割分担等、連携・協働の取組の進め方がわからない。
5. 他の主体が持っている連携・協働できる取組や資源をよく知らない。
6. 経済的・人的余裕がない。
7. 自社のみで活動を行うよりも煩雑になる。
8. その他

〔市民活動団体の情報取得手段〕

設問18 市民活動団体の情報をどのように得ていますか。(社会貢献活動の情報収集やボランティアへの参加、協働相手の情報収集)あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
2. 書籍
3. 研修・セミナー・イベント等
4. 営業先・顧客
5. 住所地の回覧板
6. 表彰事例・助成金採択情報
7. 友人・知人
8. 中間支援組織が発信する情報(SNS含む)
9. 市民活動団体が発信する情報(SNS含む)
10. 内閣府HP
11. 自治体・市民活動支援センターが発信する情報(SNS含む)
12. 市民活動団体の情報を得たことはない
13. その他

県では、県民活動・協働に関するセミナーやイベント、民間助成団体による助成情報等、企業の皆様による社会貢献活動にも役立つメールマガジン「ちばNPO・ボランティア情報マガジン」を配信しています。よろしければぜひ、下記URLで登録をお願いします。

千葉県のメールマガジン 申し込みのページ

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/mailmagazine/mail/moushikomi.html>

調査はこれですべて終了です。ご協力誠にありがとうございました。

ご協力のお礼として、県民活動啓発のために作成したクリアファイル・ボランティア啓発シールのサンプル品をお送りします。

県では、県民活動の推進に資するNPO法人や企業等の皆様の取組を「ちば県民活動PR月間 賛同行事」として例年7~9月頃に募集し、ホームページ・メールマガジンによる広報支援やクリアファイル等の啓発グッズの提供を行っています。なお、「ちば県民活動PR月間 賛同行事」以外でも啓発グッズを配布できるようなイベント・講座等がありましたら、グッズを提供させていただきますので、ぜひご活用ください。

また、企業の皆様の社会貢献活動の優良な取組について、次期県民活動推進計画や県ホームページに掲載し、活動の紹介・PRをさせていただくことを検討しております。掲載の際は、個別にご相談させていただきますので、併せてどうぞよろしくお願いたします。

〔連絡先〕

千葉県 県民生活・文化課 県民活動推進班

TEL:043-223-4133

